

海軍公報

(部内限) 第三千三十六號

海軍大臣官房

昭和十三年十月十二日(水)

○令達

官房機密第五四二號
今次事變中ニ限り第四艦隊司令部及同戰隊司令部ニ對
スル兵器ノ供給及貸與ニ關スル所管海軍軍需部ヲ佐世
海軍軍需部トス

昭和十三年十月十二日

海軍大臣

○通牒

經契第三號ノ一、九五七

昭和十三年十月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

船底ペイント類購買合併契約更改

ノ件通知

昭和十三年四月一日經契第三號ノ六六二通牒首題契約

中左記ノ通更改致候條御了知相成度

記

更改契約書

昭和十三年四月一日海軍省經理局長村上春一ト中國塗
料株式會社、日本油脂株式會社、東亞ペイント株式會
社トノ間ニ契約締結セル船底ペイント類供給契約ニ關
スル契約書中更改スルコト左ノ如シ
第一條ノ價格表備考欄中「容器ハ返却セザルモノトス」
トアルヲ「容器ヲ返却シタル場合ハ本價格ヨリ壹厘
ニ付金貳錢也ヲ減額スルモノトス」ニ改ム
右更改契約ヲ證スル爲メ本書貳通ヲ作製シ各自署名調
印ノ上各共壹通ヲ保有スルモノナリ

昭和十三年十月一日

海軍省經理局長 武井大助

中國塗料株式會社

日本油脂株式會社

東亞ペイント株式會社

海軍公報(部内限) 第三千三十六號 昭和十三年十月十二日

一二〇七

0986

昭和十三年十月一日

海軍航空本部部長	海軍艦政本部部長	海軍省建築局長	海軍省經理局長	海軍省醫務局長	海軍省軍需局長	海軍省教育局長
----------	----------	---------	---------	---------	---------	---------

關係各廳長殿

自動車集中購買ニ關スル件通牒

本年十二月以降首題物品中左記ニ對シ海軍省經理局ニ於テ各廳共ノ月所要ノ分ヲ取纏メ毎月月頭集中購買ヲ實施スルコト相成候條左記ニ依リ貴廳所要ノ概量通知並ニ購買要求ヲ主務部局宛ニ通送付相成度

記

一、集中購買ノ自動車ノ種類

日産、トヨタ級乗用自動車、貨物自動車並ニ全上シヤシー

二、購買概量通知期日

[illegible]

一〇、一一、一二月	七月拾五日	本年度ニ限リ拾貳月及 壹、貳、參月所要ノ分 ハ本年拾月貳拾五日迄 ニ通知ノコト		
一、二、三月	拾月拾五日			
四、五、六月	壹月拾五日			
七、八、九月	四月拾五日			
三、購買要求送付期日 毎月納期ノ四拾五日前（納期ハ月末トシテ契約ス）				
四、様式				
イ 購買概量通知 月 月 月 分自動車購買概量通知				
應 名				
自動車名 (型式)	輪 距 (吋)	座席數 (積載量)	數 量	所 要 期
				月 月 月
備考 規格ハ主務部局ノ定ムルトコロニ據ル				
(ロ) 購買要求 月分自動車購買要求				
應 名				

自動車名 (型式)	輪距 (吋)	座席數 (積載量)	數量	納入場所

備考 主務部局ニテ定メタル規格中不要ノ附屬品アル
場合ハ通知ノコト

○ 辭 令

大湊海軍航空隊附海軍技手 師橋 慶太郎
支那方面艦隊司令部附ヲ命ス(海軍省)
第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局) 海軍大佐 白石 萬隆
軍司令部出仕海軍大尉 井上 三郎
第三部第六課勤務ヲ命ス(海軍司令部)
海軍大尉 井上 三郎
參謀部第三部第六課勤務ヲ命ス(海軍大本營海軍部)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

聯合艦隊司令部、各艦及附屬各艦、第二艦隊司令部、
各艦宛
當分ノ間
佐世保郵便局氣付

○ 試驗問題發送

第四十五期偵察練習生 採用試驗問題
第四十七期操縱練習生 採用試驗問題
第四十九期 普通科整備術練習生 採用試驗問題
右十月八日左記ノ通發送濟未着ノ向又ハ別ニ必要ノ向
ハ至急御通知相成度

記

一、單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送セリ
二、聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部長及各要港部參
謀長(舞鶴ハ舞防司令)宛送付
三、聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲
聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記諸官
宛單獨試驗問題若干部送付シアリ
(横須賀海軍航空隊)

0988

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」
指定ヲ要セズ

○十月十二日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲
長門、赤城、駒橋▲、八雲、磐手

【神風】

曉▲、漣▲、狹霧▲、八響▲、雷▲、電▲、羽風▲

【神風】

富士▲、尻矢▲

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】

旗風、秋風、夏雲、朝雲、峯雲、山雲、
神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、
伊一二三、伊一二四

石川島
太刀風▲

【横濱】

掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

早苗▲

【函館】

若竹▲、吳竹

【小樽】

波風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲衣笠、青葉、淀、淺間、

扶桑▲、古鷹▲、加古▲
夕顔、巨菊、葵、萩、巨磯波▲、綾波▲、浦波▲
巨初雪、白雪、吹雪、巨矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七▲
呂二八、伊五一、巨伊五三、伊五五、
伊七一、巨伊六六、伊六五、伊六七、
伊七三、伊七四、巨伊一二一、伊一二二、
巨伊一二三

【神戶】

(千代田)▲(伊一六)▲

伊五四、呂五七、呂五九▲
(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲
襟裳▲、早鞆▲

【相生】

(掃七)▲

因ノ島、巨朝風▲、春風▲

【江田内】

平戸▲、最上

【舞鶴】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

【佐世保】

(霞)▲(陽炎)▲(掃九)▲

榛名▲、那智▲、北上▲、常磐、巨名取

梨▲、竹▲、樗▲、桃▲、柳▲、檜▲、草▲、巨夕風▲

朝風▲、巨若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲

巨大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、文月、

【沼風】

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六四、巨呂六六、

海軍公報(部内限) 第三千三十六號

昭和十三年十月十二日

一二一

0989

呂六五▲、呂六七、呂六八、呂六三

雁▲、敷島▲、知床、室戸

(明石)▲

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲(筑摩)▲

【有明灣】陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、大鯨、

鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、阿武隈

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、

伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、

伊六一、伊六二

【鎮海】葦、楡

【清津】梯

【羅府】石廊

【作業地】沖島、出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、

八重山、白鷹、川内、足柄、球磨、

妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、

神威、能登呂、勝力、千歳、迅鯨、那珂、

由良、鬼怒、神通、蒼龍、龍驤

栗、梅、連、夕立、村雨、春雨、五月雨、

白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、

【航海中】

木曾(七日「サイバン」發—仁川へ)

大井、呂三三、呂三三、伊五七、伊五六、

伊五八、伊七二(十一日吳發—鹿兒島へ)

洲崎(十一日神社發—横須賀へ)

涼風、山風、水無月、長月、葛、薄、
藤、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、
望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、
菱、島風、汐風、灘風、皐月、臘、
潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、
叢雲、東雲、陸月、卯月、彌生、如月、
野風
隼、鵠、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、鳩、鷺、雉
掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
朝日、膠州、鶴見、野島

0990

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千三十七號

海軍大臣官房

昭和十三年十月十三日(木)

○令 達

官房第五一六九號
昭和十三年十月十三日
ニテ本號廢止

驅逐艦敷波修理ノ爲舞鶴在泊中同艦ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ第十九驅逐隊附主計科士官ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十三年十月十三日

海 軍 大 臣

○通 牒

經契第三號ノ一、八九七

昭和十三年十月一日

海 軍 省 經 理 局 長

關係各廳長殿

アークススタビレンドA鎔接棒(機關用)

購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件左記ノ通愛知工業株式會社ト契約締結致候條

可然處理相成度

記

契 約 書

海軍省經理局長武井大助(以下甲ト稱ス)ハ左記物品(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭和拾四年參月參拾壹日迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ愛知工業株式會社代表取締役社長井上彌三郎(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

一、品名 アークススタビレンドA鎔接棒

第壹條 乙ハ別紙記載ノ本品價格表ニ依リ甲又ハ甲ノ指定スルモノ(以下註文者ト稱ス)ニ供給スルモノトス

但シ本單價中ニハ納入地(内地ニ限ル)迄ノ荷造運賃其他納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス

第貳條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第參條 註文者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品種

海軍公報(部内限) 第三千三十七號 昭和十三年十月十三日

一一三

0991

毎ニ品名、寸法、規格、數量、納期、納入場所其他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書式通ヲ作製シ壹通ヲ直接乙ニ他ノ壹通ヲ海軍艦政本部ニ送付スルモノトス

但シ納期ハ註文書乙ニ到着後約壹ヶ月以上ノ餘裕アル如ク取計フモノトス

第四條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ之ト同一書式ニ依リ購買番號、單價、代價其他必要ナル事項ヲ記載セル明細書ヲ附シタル承諾書ヲ註文者ニ提出スルモノトス

第五條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領者ハ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス

第六條 本品引渡後壹ケ年以内ニ有害ナリト認ムル瑕疵ヲ發見セラレタルトキハ乙ハ指定期間内ニ無償ニテ之ガ引換又ハ修理ヲ爲スモノトス

第七條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス
分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルモノトス

第八條 官ニ納入シタル本品代價ニ對シテハ前條ニ依リ代金請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ

支拂ヲ爲スモノトス

第九條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非レバ本契約ニ因リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第十條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ秘密ヲ嚴守シ又他人ヲシテ嚴守セシムル義務ヲ負フモノトス

第十一條 本契約ニ明揭ノ外ハ大正拾壹年四月海軍省令第十一號海軍契約規程並海軍契約規程施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲メ本書式通ヲ作り各自記名調印シテ各共ノ壹通ヲ保有スルモノナリ

昭和拾參年拾月壹日

海軍省經理局長 武井大助

東京市品川區北品川四丁目五五五番地

愛知工業株式會社

代表取締役社長 井上彌三郎

單價表

品名	寸法(徑)耗	壹匁ニ付
アーコススタビレンドA鍍接棒	三・二五	參・壹五〇

0992

同	同	四	貳六五〇
同	五	貳壹〇五	

航本機密第七五〇三號

昭和十三年十月十一日

海軍航空本部長

佐世保、廣海軍工廠長
海軍航空廠長殿

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

四月一日航本機密第二〇〇〇號首題通牒ニ左記ヲ追加
ス

記

配付先

年額

○鈴鹿海軍航空隊

一〇、〇〇〇圓

(昭和十三年四月八日海軍公報(部内限)参照)

○雜款

○司令驅逐艦一時變更

第十九驅逐隊司令ハ十月十二日司令驅逐艦ヲ一時磯波
ヨリ綾波ニ變更セリ

○司令驅逐艦復歸
第二十五驅逐隊司令ハ十月十日司令驅逐艦ヲ朝潮ヨリ
大潮ニ復歸セリ

海軍公報(部内限)第三千三十七號

昭和十三年十月十三日

一二一五

0993

○艦船所在

▲印ハ二ハホ
指 定ヲ要セズ

○十月十三日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲
長門、赤城、駒橋▲▽八雲、磐手

▽曉▲漣▲狹霧▲▽響▲雷▲電▲羽風▲
沖風▲

掃二

富士▲尻矢、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長 浦】

旗風、▽秋風、▽夏雲、朝雲、峯雲、山雲、
神風

呂五四、 呂五五、 呂五六、 呂五八、

▽伊一二三、 伊一二四

【石川島】

太刀風▲

(掃一○)

【横 濱】

掃五▲、掃六▲

【浦 賀】

夕風▲ (霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館 山】

澤風▲

【大 湊】

早苗▲

【函 館】

若竹▲ 吳竹

【小 樽】

波風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲衣笠、青葉、淀、淺間、

扶桑▲、古鷹▲、加古▲
夕顔、▽菊、葵、萩、▽綾波、磯波▲、浦波▲
▽初雪、自雪、吹雪、▽矢風

▽初雪、自雪、吹雪、▽矢風

呂五一、 呂五三、 呂二六▲、 呂二七▲、
呂二八▲、 伊五一、 伊五三▲、 伊五五、
伊七一▲、 伊六六▲、 伊六五▲、 伊六七▲、
伊七三、 伊七四▲、 伊一二一、 伊一二二、
(千代田)▲(伊一六)▲

伊五四▲、 呂五七▲、 呂五九▲
(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲
襟裳▲、早鞆▲

(掃七)▲

【神 戶】

伊五四▲、 呂五七▲、 呂五九▲
(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲
襟裳▲、早鞆▲

【相 生】

襟裳▲、早鞆▲

【玉 子】

(掃七)▲
因ノ島、▽朝風、松風、春風▲

【因ノ島】

▽朝風、松風、春風▲

【江田内】

平戸▲

【新 港】

最上

【德 山】

隱戸

【舞 鶴】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風
伊五二▲

【佐世保】

(霞)▲(陽炎)▲(掃九)▲
榛名▲、那智▲、北上▲、常磐、▽名取
梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、重▲、▽夕風▲
朝風▲、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲
▽大潮▲、朝潮▲、満潮▲、荒潮▲、峯風、文月、
▽沼風

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六六、
呂六五▲、呂六七、呂六八、呂六三

雁▲

敷島▲、知床

（明石）▲

【八幡】

室戸

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

（利根）▲（筑摩）▲

【鹿兒島】

大井

呂三四、呂三三、伊五七、伊五六、
伊五八、伊七二

【鎮海】

石廊

【羅府】

石廊

【作業地】

出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、
八重山、白鷹、川内、足柄、球磨、
妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、
神威、能登、勝力、千歳、迅鯨、那珂、
由良、鬼怒、神通、蒼龍、龍驤、
栗、梅、連、夕立、村雨、春雨、五月雨、
白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、
涼風、山風、水無月、長月、鳶、薄、
藤、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、
望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、

【航海中】

木曾（七日「サイパン」發—仁川—）

陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、大鯨、島海、
摩耶、熊野、鈴谷、三隈、阿武隈、伊一、伊二、
伊三、伊六、伊四、伊五、伊七、伊七〇、
伊六八、伊六九、伊六三、伊五九、伊六〇、
伊六四、伊六一、伊六二、攝津、鳴戸、間宮（十

二日有明灣發—佐世保—）

菱、島風、汐風、灘風、阜月、臘、
潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、
叢雲、東雲、睦月、卯月、彌生、如月、
野風、柿、
隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、鳩、鷺、雉、
掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、
朝日、膠州、鶴見、野島

0995

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千三十八號

海軍大臣官房

昭和十三年十月十四日(金)

○令達

官房第五一八一號

艦營需品定額表中數量左ノ通定ム

昭和十三年十月十四日

海軍大臣

機關長主官

備品第十一類ダイヤルゲージ

種別	艦船部隊名	數	量	記事
練習戰艦	比叡	四	四	
巡洋艦等	古鷹型、青葉型、妙高型、高雄型	二	二	
航空母艦	鳳翔、龍驤	二	二	
潜水母艦	迅鯨型、大橋、韓崎、駒橋	二	二	

特務艦

朝日

二

二

通信隊

東京(船橋分遣隊) 佐世保、高雄

一

一

航空隊

霞ヶ浦(友部分遣隊)

二

二

上海海軍特別陸戰隊

一

一

官房機密第五六〇四號

機要

當分ノ間海軍軍需部兵備品出納命令官ハ廢品タル飛行機(艇)々體、發動機、「プロペラ」ヲ修理用材料トシテ海軍工作廳ニ保管轉換スル場合及航空機用材料、原料トシテ民間會社ニ賣却スル場合ニ限リ兵器經理規程第四十四條第二項ノ規定ニ拘ラズ廢品處分ニ付承認ヲ與フルコトヲ得但シ爾後速ニ報告スルモノトス

昭和十三年十月十四日

海軍大臣

○通牒

海軍公報(部内限) 第三千三十八號

昭和十三年十月十四日

一二二九

0996

經契第三號ノ一、九五六

昭和十三年十月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

銑鐵購買合併契約ノ件通牒

昭和十三年度下半期分銑鐵ニ關シ左記ノ通日本製鐵株式會社ト契約締結致候條可然處理相成度

記

契約書

海軍省經理局長武井大助（以下甲ト稱ス）ハ各海軍工作廳ニ於テ使用スル銑鐵（以下本品ト稱ス）ニ就キ昭和十四年三月末日迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ日本製鐵株式會社取締役社長中井勵作（以下乙ト稱ス）ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 本品ノ價格ハ左ノ通トシ甲又ハ甲ノ指定スル

モノ（以下註文者ト稱ス）ニ供給スルモノトス

普通銑鐵（三號）一匁ニ付金八拾壹圓也トシ一號銑

鐵ニ對シテハ本價格ノ貳圓増、二號銑鐵ハ壹圓増ト

ス

但シ本品價格ハ官ノ指定スル納入地迄ノ荷造運賃及納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス

第二條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第三條 甲又ハ甲ノ指定スル者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品名、規格、數量、納期、納入場所其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書ヲ乙ニ送付スルモノトス

第四條 乙ハ前條註文書ヲ受ケタルトキハ之ト同一書式ニ依リ購買、番號、單價、代價其ノ他必要ナル事項ヲ記載セル承諾書ヲ註文者ニ提出スルモノトス

第五條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領者ハ必要ト認ムル檢査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス

第六條 本品引渡後一ケ年以内ニ有害ナリト認ムル瑕疵ヲ發見セラレタルトキハ乙ハ更ニ指定期日內ニ無償ニテ之ガ引換ヲ爲スモノトス

第七條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルコトヲ得

第八條 官ニ納入シタル本品代價ニ對シテハ前條ニ依リ代金請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂フモノトス

0997

但シ海軍契約規程第六條ニ依ル減少金ハ之ヲ免除ス
ルモノトス

第九條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ザレバ本
契約ニ因リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡
スルコトヲ得ザルモノトス

第十條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ祕密ヲ嚴守ス
ルノ義務アルモノトス

第十一條 本契約ニ明揭ノ外ハ大正十一年四月海軍省
令第十一號海軍契約規程並海軍契約規程施行手續及
海軍艦政本部ト日本製鐵株式會社トノ間ニ協定セル
海軍用銑鐵需給要項(昭和十二年四月協定)ニ依ル
モノトス

右契約ノ確實ヲ證スル爲本書式通ヲ作り雙方記名調印
シテ各自其ノ壹通ヲ保有スルモノトス

昭和十三年十月一日

海軍省經理局長 武井 大助

東京市麴町區丸ノ内貳丁目貳拾番

地壹

日本製鐵株式會社

取締役社長 中井 勵作

○雜款

○書類發送先
當隊第一、二、三號驅潛艇分離行動中必要書類ハ各
艇宛直送相成度

(第十三砲艇隊)

○人員輸送請求票ニ添附スベキ人名表ニ關スル件照會
海上運輸規程ニ依リ添附スベキ首題人名表ハ其ノ書式
ヲ異ニスルモノ又ハ各欄ノ記載事項不備ノモノ多ク殊
ニ便乘證明書ノ送付先記載ナキモノ大多數ニシテ事務
能率ヲ阻害スルコト尠カラザルニ付自今首題人名表ハ
各鎮守府所定ノ海上運輸取扱内規ニ依ル書式通トシ且
必要ノ事項ハ漏レナク記載ノコトニ取計ラ得度
(特務艦野島)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月十四日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、長門、赤城、駒橋、八雲、磐手

曙、漣、狹霧、響、雷、電、羽風、沖風

掃二

富士、尻矢、洲崎

(飛龍) (高崎) (劍崎)

【長浦】

旗風、秋風、夏雲、朝雲、峯雲、山雲、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一二三、伊一二四

太刀風

【石川島】

(掃一〇)

掃五、掃六

【横濱】

(霞) (不知火) (掃八)

夕風

【浦賀】

澤風

早苗

【大湊】

若竹、吳竹

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑、古鷹、加古

【函館】

吳

夕顔、白菊、葵、萩、綾波、磯波、浦波、初雪、白雪、吹雪、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、伊七一、伊六六、伊六五、伊六七、伊七三、伊七四、伊一二二、伊一二三、伊一二四、伊一六〇

(千代田) (伊一六)

伊五四、呂五七、呂五九

(瑞穂) (伊八) (伊七五)

襟裳、早鞆

(掃七)

松風、春風

平戸

最上

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、敷波、帆風

伊五二

(霞) (陽炎) (掃九)

榛名、那智、北上、常磐、名取、陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、大鯨、島海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、阿武隈、梨、竹、榎、桃、柳、椿、草、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、文月、沼風、野風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇

【佐世保】

陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、大鯨、島海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、阿武隈、梨、竹、榎、桃、柳、椿、草、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、文月、沼風、野風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇

海軍公報(部内限) 第三千三十八號

昭和十三年十月十四日

一二三

0999

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六六、
呂六五▲、呂六七、呂六八、呂六三、
伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、
伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、
伊六一、伊六二

雁▲
敷島▲、攝津、鳴戸、間宮

（明石）▲

【長崎】

羽黒▲
佐多▲

（利根）▲、（筑摩）▲

【鹿児島】

大井

伊呂三四、呂三三、伊五七、伊五六、
伊五八、伊七二

【鎮海】

石廊

【羅府】

石廊

【作業地】

伊沖島、出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、
八重山、白鷹、川内、足柄、球磨、
妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、
神威、能登、勝力、千歳、迅鯨、那珂、
由良、鬼怒、神通、蒼龍、龍巖、
栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、
白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、

【航海中】

木曾

（七日「サイパン」發—仁川へ）

波風

（十三日小樽發—大湊へ）

室戸

（十三日八幡發—吳へ）

隠戸

（十三日徳山發—佐世保へ）

涼風、山風、水無月、長月、藤、葛、
薄、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、
望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、
菱、島風、沙風、灘風、皐月、臘、
潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、
叢雲、東雲、陸月、卯月、彌生、如月、
柿

隼、鵠、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、鳩、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃二三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、膠州、鶴見、野島、知床

海軍公報 (部内限) 第三千三十九號

昭和十三年十月十五日(土)
海軍大臣官房

○令達

官房機密第五〇三四號
第二根據地隊司令部附タル特務士官以下ハ佐世保鎮守府ヨリ之ヲ補充スベシ

昭和十三年九月十五日

海軍大臣

廢止

官房機密第五六四三號
昭和三十九年九月十五日
第二根據地隊司令部附タル特務士官以下ハ佐世保鎮守府ヨリ之ヲ補充スベシ

記

一 艦船部隊等ニ於ケル經費支拂ハ凡テ軍用手票ヲ使用スルモノトス但シ一時揚子江流域ニ在ル艦船及當時揚子江流域以外ノ地ト往復スル艦船ニ在リテハ其ノ艦船内ニ於ケル經費支拂ニ限リ軍用手票ヲ使用セザルコトヲ得

二 艦船部隊ノ長共ノ他軍人、軍屬、工員、人夫等ノ

海軍公報 (部内限) 第三千三十九號 昭和十三年十月十五日

一二二五

○通牒

監督ニ當ル者ハ日本通貨ヲ艦船部隊外ニ於テ使用セシメザル様適當ノ措置ヲ講ズルモノトス

本年官房第四七九六號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年十月十五日

海軍大臣

(參照) 本年官房第四七九六號ハ當分ノ間揚子江流域ニ於テ軍用手票ヲ使用スルノ件ナリ

官房機密第三號ノ一一昭和三十九年九月十五日
第二根據地隊司令部附タル特務士官以下ハ佐世保鎮守府ヨリ之ヲ補充スベシ

海軍省經理局長

關係各支出官(殿)
關係各資金前渡官吏(殿)

軍用手票使用ニ關スル件通牒

中支方面軍用手票使用ニ關シ今般官房機密第五六四三號ヲ發布相成候處之ガ實行ニ關シテハ別紙支那事變派

遣部隊經費支辨軍用手票取扱手續及同取扱手續ノ實行方ニ關スル件ニ依ルノ外左記ノ通取扱相成度
追而本年經豫第七號ノ一八八ハ自然消滅ノ儀ト了知相成度

記

公報二二五頁

一 資金前渡官吏軍用手票ヲ以テ資金ヲ受入レ又ハ返納セントスルトキハ前渡資金受入請求書又ハ前渡資金返納請求書ニ軍用手票ノ種類及枚數ヲ記載シタル内譯書ヲ添附スルモノトス

二 現地ニ在ル艦船部隊等ハ最寄海陸軍部隊又ハ朝鮮銀行、臺灣銀行若ハ正金銀行ノ各代理店等ニ於テ日本通貨ニ換ヘ軍用手票ヲ受入ルモノトス

三 揚子江方面ニ向ケ出動スル艦船部隊ニ在リテハ横須賀、吳、佐世保日本銀行代理店ニ於テ支出官ノ振出シタル小切手又ハ經理部分任出納官吏ノ預託金ニ付振出シタル小切手ヲ以テ日本通貨ニ換ヘ軍用手票ヲ受入ルコトヲ得ルノ外出納官吏保管ノ日本通貨ヲ以テ軍用手票ト交換スルコトヲ得

四 出納官吏軍用手票ヲ以テ歳入金ヲ收納シタルトキハ軍用手票ヲ以テ別紙支那事變派遣部隊經費支辨軍用手票取扱手續第十一條第一項ニ掲グル日本銀行代

理店ニ拂込ムコトヲ得

五 艦船部隊ノ主計長ハ乗員隊員等ノ艦船部隊外ニ出ヅル場合ニハ所持ノ日本通貨ヲ軍用手票ニ交換スルモノトス

六 海軍經理部長ハ所要軍用手票ノ金額、種類、枚數及期日ヲ豫メ海軍省經理局長ニ通報スルモノトス
七 當分ノ間軍用手票ハ之ヲ日本通貨ト看做シ出納整理スルモノトス但シ海軍會計監督規程第十三條ノ規定ニ依ル檢定書中金額現在高ノ項ニハ軍用手票ノ現在高ヲ別記スルモノトス

（別紙）

支那事變派遣部隊經費支辨軍用手票取扱手續

（昭和十三年十月五日官房秘乙第四七〇號ノ二大藏大臣ヨリ海軍大臣宛通牒）

第一條 政府ハ軍費支拂ノ便ニ供スル爲豫算ノ範圍内ニ於テ軍用手票ヲ發行ス

第二條 軍用手票ハ昭和十二年軍用手票（以下單ニ軍用手票ト稱ス）ト稱シ拾圓、五圓、壹圓、五拾錢及拾錢ノ五種トス

第三條 大藏省理財局長ハ大藏大臣ノ決裁ヲ經テ隨時製造ヲ要スベキ軍用手票ノ種類、枚數及製造期間ヲ

定メ之ヲ内閣印刷局ニ通知スベシ

第四條 内閣印刷局ハ軍用手票ノ製造出來ニ伴ヒ其ノ種類及枚數ヲ大藏省理財局長ニ通知スベシ

第五條 大藏省理財局長内閣印刷局ヨリ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ同局ニ對シ軍用手票ヲ日本銀行ニ引渡スベキ旨ヲ通牒シ且同行ニ對シ之ガ受領方令達ノ手續ヲ爲スベシ

第六條 日本銀行前條ニ依リ軍用手票ヲ受領シタルトキハ別口預金ニ受入レ國庫金總括帳科目「軍票發行高」ノ科目ヲ以テ整理スベシ

第七條 陸軍省又ハ海軍省軍用手票ノ拂出ヲ受ケントスルトキハ豫メ其ノ金額、種類、枚數及期日ヲ大藏省ニ通知スベシ

大藏省陸軍省又ハ海軍省ヨリ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ旨直ニ日本銀行ニ通知スルモノトス

第八條 陸軍省又ハ海軍省支出官資金前渡官吏ニ對シ資金ヲ前渡セントスル場合ニ於テ軍用手票ノ交付ヲ要スルトキハ其ノ振出ス小切手ニ軍用手票ノ種類及枚數ヲ記載シタル内譯書ヲ添付スベシ
陸軍省又ハ海軍省資金前渡官吏其ノ預託金ヲ拂出サントスル場合ニ於テ軍用手票ノ交付ヲ受ケントスル

トキ亦前項ニ同ジ

第九條 日本銀行ハ昭和十二年軍用手票受拂證ヲ備ヘ受拂ノ都度其ノ受拂高ヲ大藏省ニ報告スベシ
日本銀行ハ毎月末ニ於ケル軍用手票ノ種類別殘高ヲ翌月十日迄ニ大藏省ニ報告スベシ

第十條 軍人軍屬ニシテ事變地ニ於テ軍用手票ヲ日本通貨ト引換ヲ請フモノアルトキハ各部隊出納官吏ニ於テ額面價額ヲ以テ之ガ引換ヲ爲スモノトス但シ内地歸還又ハ移駐ノ場合ニ於テハ可成乘船地又ハ上陸地ニ於ケル軍又ハ日本銀行本店、支店若ハ代理店ニ於テ之ガ引換ヲ爲スモノトス

第十一條 軍人軍屬ニシテ事變地外（内地、朝鮮、臺灣、關東州及滿洲國ヲ謂フ以下同ジ）ニ於テ軍用手票ヲ日本通貨ト引換ヲ請フモノアルトキハ軍又ハ日本銀行本店、支店若ハ左ノ代理店ニ於テ額面價額ヲ以テ之ガ引換ヲ爲スモノトス

橫濱代理店

橫須賀代理店

宇都宮代理店

旭川代理店

弘前代理店

大湊代理店
仙臺代理店
東舞鶴代理店
姫路代理店
善通寺代理店
吳代理店
長崎代理店
佐世保代理店
久留米代理店
臺北代理店
高雄代理店
澎湖代理店
京城代理店
鎮海代理店
大連代理店
旅順代理店
新京代理店

前項以外ノ日本銀行代理店ニ於テ引換ノ必要アル場合ニ於テハ大藏大臣之ヲ指定スルモノトス

第十二條 軍人軍屬以外ノモノニシテ事變地ニ於テ軍用手票ヲ日本通貨ト引換ヲ請フモノアルトキハ軍ニ

於テ額面價額ヲ以テ之ガ引換ヲ爲スモノトス

第十三條 軍人軍屬以外ノモノニシテ事變地外ニ於テ軍用手票ヲ日本通貨ト引換ヲ請フモノアルトキハ日本銀行本店、支店又ハ第十一條第一項ニ掲グル代理店ニ於テ額面價額ヲ以テ之ガ引換ヲ爲スモノトス

前項以外ノ日本銀行代理店ニ於テ引換ノ必要アル場合ニ於テハ大藏大臣之ヲ指定スルモノトス

第十四條 前二條ノ場合ニ於テ投機ノ目的ヲ以テ引換ヲ請フモノト認メラルモノニ對シテハ引換ヲ爲サザルモノトス

第十五條 汚損又ハ毀傷シタル軍用手票ニシテ表裏兩面ヲ具備シ其ノ三分ノ二以上ヲ存スルモノハ額面金額ノ全額、五分ノ二以上ヲ存スルモノハ額面金額ノ半額ヲ以テ無手数料ニテ之ガ引換ヲ爲スモノトス

表裏ノ模様大部分認識シ難キモ紙質、色彩等ニ依リ眞正ノ軍用手票ト認メタルモノ亦前項ニ同ジ

第十六條 軍用手票ノ細片ヲ合シ其ノ各片相吻合シ又ハ相吻合セザルモノ同一手票ノ紙片ナルコトヲ認メタルモノニ付テハ前條ノ規定ヲ適用スルモノトス

第十七條 前二條ニ該當スルモノト雖モ紙質又ハ色彩ノ變化其ノ他ノ原因ニ依リ眞偽鑑定シ難キモノハ之

ガ引換ヲ爲サザルモノトス

第十八條 軍ニ於ケル工員、人夫等ニ關シテハ本手續
中軍人軍屬ニ關スル規定ニ依ル

支那事變派遣部隊經費支辨軍用手票
取扱手續ノ實行方ニ關スル件

(昭和十三年十月五日理密第八〇四號大藏省
理財局長ヨリ海軍省經理局長宛依命通牒)

第一、第八條ノ規定ニ依リ支出官又ハ資金前渡官吏ガ
軍用手票ノ拂出ヲ受クルハ當分ノ内日本銀行本店又
ハ横須賀、吳若ハ佐世保代理店ニ限ルモノトス
前項以外ノ日本銀行ニ於テ軍用手票ノ拂出ヲ要スル
トキハ豫メ大藏省ニ協議スルモノトス
第二、第十條、第十一條又ハ第十三條ノ規定ニ依リ日
本銀行本店、支店又ハ代理店ニ於テ軍用手票ノ引換
ヲ爲スハ當分ノ内左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限
ルモノトス

一、軍人軍屬ナルコトヲ明ニ認メラルル場合

二、軍ノ身分證明書ヲ所持スル場合

三、軍ノ引換證明書ヲ所持スル場合

四、前各號ニ掲グル場合ノ外一人一同ノ引換要求高
十圓以下ナル場合前項以外ノ場合ニ於テ軍用手票

ノ引換ヲ要スルトキハ大藏省ニ協議スルモノトス
第三、第十條、第十一條又ハ第十三條ノ規定ニ依リ日
本銀行代理店ニ於テ軍用手票ノ引換ヲ爲ス場合ニ於
テ引換通貨ナキトキハ引換通貨ノ到達スベキ時間引
換ヲ延期スルコトヲ得ルモノトス

經豫第三號ノ三〇六

昭和十三年十月十五日

海軍省經理局長

各支出官、出納官吏殿

滿洲國又ハ北支那ニ關スル支出官事務、出

納官吏事務及日本銀行國庫金取扱ノ件通牒

首題ノ件左記ノ通實行ノコトニ決定ノ旨大藏省ヨリ通
牒有之候條右ニ依リ取扱相成度

記

滿洲國又ハ北支那ニ關スル支出官事務、出

納官吏事務及日本銀行國庫金取扱規程

第一條 支出官滿洲國又ハ北支那ニ在ル債主又ハ出納
官吏ニ對シ支拂又ハ資金ノ交付ヲ爲サントスル場合
竝ニ出納官吏及日本銀行滿洲國又ハ北支那ニ於テ現
金ノ出納保管又ハ國庫金ノ出納ヲ爲サントスル場合

ハ當分ノ内本規程ニ依リ其ノ事務ヲ處理スベシ

第二條 支出官滿洲國又ハ北支那ニ在ル債主ニ對シ邦貨、滿洲國國幣、中國聯合準備銀行ノ發行スル貨幣（以下中國聯合準備銀行券ト稱ス）又ハ蒙疆銀行ノ發行スル貨幣（以下蒙疆銀行券ト稱ス）ヲ基礎トスル金額ノ支拂ヲ爲サントスルトキハ支出官事務規程第九條乃至第十八條ノ規定ニ依リ之ガ取扱ヲ爲スコトヲ得但シ支拂金額ノ基礎タル貨幣ガ滿洲國國幣、中國聯合準備銀行券又ハ蒙疆銀行券ナルトキハ當該小切手又ハ歳出金支拂通知書ノ表面餘白ニ其ノ種類ヲ表示スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ支出官滿洲國又ハ北支那ニ在ル出納官吏ニ資金ヲ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第三條 滿洲國又ハ北支那ニ在ル出納官吏ノ現金出納簿ノ登記ニ付テハ滿洲國國幣、中國聯合準備銀行券又ハ蒙疆銀行券ヲ以テ出納ヲ爲シタル場合ト雖モ總テ邦貨ヲ以テ登記スルコトヲ得但シ其ノ手許ニ保管スル現金ハ邦貨、滿洲國國幣、中國聯合準備銀行券又ハ蒙疆銀行券ニ付テ之ヲ區分整理スベシ

第四條 滿洲國又ハ北支那ニ在ル收入官吏邦貨、滿洲國國幣、中國聯合準備銀行券又ハ蒙疆銀行券ヲ基礎

トスル收入金ヲ邦貨、滿洲國國幣、中國聯合準備銀行券又ハ蒙疆銀行券ヲ以テ收納シタル場合ニ於ケル領收簿報告書及現金拂込書ニ付テハ總テ邦貨ヲ以テ記載スルコトヲ得

第五條 滿洲國又ハ北支那ニ在ル資金前渡官吏其ノ在勤地ニ日本銀行ナキ場合ニ於テ滿洲中央銀行、中國聯合準備銀行又ハ蒙疆銀行アルトキハ其ノ手許ニ保管スル現金ヲ自己ノ責任ヲ以テ當該銀行ニ預託スルコトヲ得但シ當該銀行ガ其ノ預託金ニ關シ日本銀行國庫金取扱規程中預託金ニ關スル規定ニ準ジ其ノ取扱ヲ爲ス場合ニ限ル

前項ノ預託金ノ出納ニ關シテハ出納官吏事務規程ヲ準用ス

第六條 滿洲國又ハ北支那ニ在ル日本銀行滿洲國國幣、中國聯合準備銀行券又ハ蒙疆銀行券ヲ以テ國庫金ノ受拂ヲ爲サントスルトキハ同額ノ邦貨ノ受拂トシテ之ヲ整理スベシ

第七條 本規程ニ規定セザル事項ニ關シテハ支出官事務規程、出納官吏事務規程及日本銀行國庫金取扱規程ノ定ムル所ニ依ル

附則

本規程ハ昭和十三年十月五日ヨリ之ヲ施行ス

○ 辭 令

海軍大佐 山口 次平

恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス

二千六百年委員會委員ヲ命ス

陸海軍軍需工業動員協定委員會委員兼理事長ヲ命ス

燃料政策調査會委員ヲ命ス

軍港要港勢力標準調査委員會委員ヲ命ス

軍需品平時生産協定中央委員會委員(幹事長)ヲ命ス

財團法人海仁會設立委員會委員ヲ命ス(財團海軍省)

江口 良吉

森口 喜之助

小田 國次郎

大野 弘

安部 四方治

(各通)

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(特許同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦一時變更

第十九驅逐隊司令ハ十月十二日司令驅逐艦ヲ一時磯波ヨリ綾波ニ變更セリ

○郵便物發送先

軍艦利根艦裝具事務所宛

十月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ

長崎市飽ノ浦

同 三十日迄ニ 同

佐世保郵便局氣付

其ノ後ハ 長崎市飽ノ浦

特務艦隱戸宛

自 今

佐世保郵便局氣付

○艦裝具事務所撤去

千代田艦裝具事務所ヲ吳海軍工廠内ニ設置中ノ處本月十日撤去ス

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」
指定ヲ要セズ

○十月十五日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲
長門、赤城、駒橋▲、▽八雲、磐手

▽曉▲、漣▲、狹霧▲、▽響▲、雷▲、電▲、羽風▲

沖風▲、峯雲

掃二

富士▲、尻矢、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】

旗風、▽秋風、▽夏雲、朝雲、山雲、神風
呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

▽伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風▲

(掃一)○

【横濱】

掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲
(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲
波風、早苗

【大湊】

大泊
若竹▲、吳竹

【函館】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、淀、淺間、
扶桑▲、古鷹▲、加古▲

夕顔、▽菊、葵、萩、▽綾波▲、磯波▲、浦波▲
▽初雪、白雪、吹雪、▽矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、▽伊五三▲、伊五五、

伊七一▲、▽伊六六▲、伊六五▲、伊六七▲

伊七三、伊七四▲、▽伊一二一、伊一二二

室戸

(千代田)▲(伊一六)▲

【神戸】

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲
(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】

襟裳▲、早鞆▲
(掃七)▲

【玉】

【因ノ島】

朝風▲、松風▲、春風▲

【江田内】

平戸▲

【舞鶴】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風
伊五二▲

(霞)▲(陽炎)▲(掃九)▲

【佐世保】

榛名▲、那智▲、北上▲、常磐、▽名取、
▽陸奥、日向、伊勢、▽霧島、金剛、▽大鯨、

▽鳥海、摩耶、鈴谷、三隈、▽阿武隈

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽夕風▲

朝風▲、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、
▽大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、文月、

▽沼風、野風
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲

海軍公報(部内限)第三千三十九號

昭和十三年十月十五日

一一三三

1008

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六六、
呂六五▲、呂六七、呂六八、呂六三、
伊七一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、
伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、
伊六一、伊六二

雁▲
敷島▲、攝津、鳴戸、間宮、隠戸
（明石）▲

【寺島水道】▶熊野
【長崎】羽黒▲

佐多▲
（利根）▲（筑摩）▲

【鎮海】草、楡

【雄基】梯

【作業地】▶沖島、出雲、▶安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、
八重山、白鷹、▶川内、▶足柄、▶球磨、
▶妙高、多摩、▶天龍、龍田、▶長良、▶加賀、
▶神威、能登呂、勝力、千歳、迅鯨、▶那珂、
由良、鬼怒、▶神通、▶蒼龍、龍驤、
栗、梅、連、▶夕立、村雨、春雨、五月雨、
白露、有明、夕暮、時雨、▶江風、海風、
涼風、山風、▶水無月、長月、▶藤、葛、
薄、▶芙蓉、朝顔、刈萱、▶菊月、夕月、

【航海中】

望月、三日月、▶追風、疾風、▶蓼、蓬、
菱、▶島風、沙風、灘風、皐月、▶臘、
潮曙、▶天霧、朝霧、夕霧、▶白雲、薄雲、
叢雲、東雲、▶陸月、卯月、彌生、如月、
▶隼、鵠、鴨、鴻、▶千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、▶鳩、鷺、雉
▶掃一、掃三、掃四、▶掃一六、掃二三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
▶朝日、膠州、鶴見、野島、知床

木曾（七日「サイパン」發—仁川へ）
大井、▶呂三三、▶呂三三、▶伊五七、伊五六、
伊五八、▶伊七二（十四日鹿兒島發—吳へ）
石廊（十四日羅府發—「ホノルル」へ）
最上（十五日新港沖發—宮島沖へ）

海軍公報 (部内限) 第三千四十號

昭和十三年十月十八日(火)
海軍大臣官房

○通牒

昭和三十七年第一號
昭和三十七年十月一日
昭和三十七年第一號
昭和三十七年第一號

海軍省教育局長
海軍省軍需局長
海軍省經理局長
海軍省建築局長
海軍艦政本部長
海軍航空本部長

關係各廳長殿

特別マニラ麻索集中購買ニ關スル件通牒

本年拾貳月以降首題物品ニ對シ海軍省經理局ニ於テ各
廳所要ノ分ヲ取纏メ毎參ケ月毎ニ集中購買ヲ實施スル
コトト相成候條左記ニ依リ購買要求ヲ主務部局宛送付
相成度

記

所要期		通知期日	備考
一〇、一二、二月	七月拾五日	本年度ニ限リ拾貳月及 壹、貳、參月所要ノ分 ハ本年拾月貳拾五日迄 ニ通知ノコト	
一、二、三月	拾月拾五日		
四、五、六月	壹月拾五日		
七、八、九月	四月拾五日		

三、様式

月分特別マニラ麻索購買要求

應名

寸 度 數 量 納 入 場 所

海軍公報 (部内限) 第三千四十號 昭和十三年十月十八日

一二三五

1010

備考

單位ハ「房」トセズ必ス「米」トスルコト
規格ハ造船機造兵主要材料試験規則所定ノモノト
スルコト

○ 辭 令

舞鶴海軍航空隊附海軍技手 上野 晴太

第四艦隊司令部附ヲ命ス

水路部附同

(各通)

同 同

第三艦隊司令部附ヲ命ス(以上^{以上}海軍省)梅

坂 町 勳
市 郎 金治郎
河 邊 梅村

海軍軍事普及部事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額五拾五圓ヲ給シ部内限判任官待遇ト

ス(海軍大臣官房)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第五驅逐隊司令ハ十月十三日司令驅逐艦ヲ朝風ヨリ旗
風ニ變更セリ

○特設運送船旭光丸行動豫定

地名	着	發
佐 世 保	十月十六日	十月十五日
吳 世 保	十月十九日	十月十八日
西 戶 崎	十月二十一日	十月二十日
神 戶 賀	十月二十五日	十月二十四日
播 磨 賀	十月三十一日	十月二十九日

○郵便物發送先

第五驅逐隊(旗風)宛

自 今

其ノ他ハ從來通(九月二十七日日本欄參照)

特設運送船旭光丸監督官宛

十月二十日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十八日迄ニ 同

其ノ後ハ

横 須 賀
佐 世 保
横 須 賀
吳 須 賀

○郵便物發送先變更

驅逐艦柿及第二十六驅逐隊機關長宛

十月二十日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

元 山
鎮 海

○送金方法ニ關スル件照會

内地艦船部隊等ヨリ當艦隊へ轉入シタル者ニ對スル追給金ヲ郵便爲替、切手類ヲ以テ送金サルル向アルモ當方面ニ於テハ爲替ノ拂渡不可能、又切手類モ必要ナキ爲之ガ處理ニ不都合ヲ來シ居候ニ就テハ自今海軍給與令施行細則第十一號書式追給通牒ニ依ル様取計ヲ得度

(第三艦隊)

○正誤
本月十五日通牒欄軍用手票使用ニ關スル件申官房機密第ノ下ニ「五六四三」ヲ脱ス

海軍公報(部内限)第三千四十號 昭和十三年十月十八日

二三七

1012

○艦船所在

指▲印▲ハ▲ホ▲フ
定▲ヲ▲要▲セ▲ズ

○十月十八日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲
長門、赤城、駒橋▲、八雲、磐手
沖風▲、夏雲、朝雲、峯雲
掃二

富士▲、尻矢、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍崎)▲

【長浦】

旗風、秋風、山雲、神風
呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、
伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風▲

(掃一○)

【横濱】

掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

波風、早苗

大泊

【函館】

若竹▲、吳竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、淀、淺間、
扶桑▲、古鷹▲、加古▲、最上、大井

夕顔、口菊、葵、萩、口綾波、磯波▲、浦波▲

口初雪、白雪、吹雪、口矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一▲、口伊五三▲、伊五五、

呂三四、呂三三、口伊五七、伊五六、

伊五八、口伊七二、伊七一▲、口伊六六、

伊六五▲、伊六七、伊七三、伊七四▲

伊一二一、伊一二二

室戸

(千代田)、(伊一六)▲

神戶 伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

相生 襟裳▲、早鞆▲

(掃七)▲

因ノ島 口朝風▲、松風▲、春風▲

江田内 平戸▲

舞鶴 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

伊五二▲

(霞)▲(陽炎)▲(掃九)▲

佐世保 榛名▲、那智▲、北上▲、常磐▲、口名取▲

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、口夕風▲

朝風▲、口若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲

口大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風▲、口野風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、口呂六六、

海軍公報(部内限) 第三千四十號

昭和十三年十月十八日

一二三九

1013

呂六五▲、呂六七、□呂六八、呂六三、

雁▲

敷島▲、攝津、鳴戸、間宮

(明石)▲

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲(筑摩)▲

【鎮海】

【清津】

【作業地】

□沖島、出雲、△安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、駿島、

八重山、白鷹、△川内、□足柄、△球磨、

□妙高、多摩、△天龍、龍田、△長良、△加賀、

△神威、能登呂、勝力、千歳、迅鯨、△那珂、

由良、鬼怒、△神通、△蒼龍、龍驤、

△陸奥、日向、伊勢、△霧島、金剛、△大鯨、

□鳥海、摩耶、△熊野、鈴谷、三隈、△阿武隈、

栗、梅、連、△夕立、村雨、春雨、五月雨、

△白露、有明、夕暮、時雨、△江風、海風、

涼風、山風、△水無月、長月、△藤、葛、

薄、△芙蓉、朝顔、刈萱、△菊月、夕月、

望月、三日月、△追風、疾風、△蓼、蓬、

菱、△島風、沙風、灘風、皐月、△朧、

潮、暗、△天霧、朝霧、夕霧、△白雲、薄雲、

叢雲、東雲、△睦月、卯月、彌生、如月、

【航海中】

石廊(十四日羅府發「ホノルル」へ)

木曾(十七日仁川發—佐世保へ)

柿(十七日清津發—元山へ)

文月、沼風

△伊一、伊二、伊三、△伊六、伊四、伊五、

伊七、△伊七〇、伊六八、伊六九、

△伊六三、伊五九、伊六〇、△伊六四、

伊六一、伊六二

△隼、鵠、鴨、鴻、△千鳥、初雁、友鶴、

真鶴、△鳩、鷺、雉

△掃一、掃三、掃四、△掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

△朝日、膠州、鶴見、野島、知床、隠戸

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千四十一號

昭和十三年十月二十日(木)
海軍大臣官房

○感 狀

感 狀

手島海軍大尉ノ指揮セシ

第一航空戦隊飛行機隊

昭和十三年八月三十日密雲驟雨ヲ突破シテ遠ク南雄敵空軍根據地ヲ衝キ諸施設ヲ撃破シ執拗ニ反撃シ來レル敵戦闘機約二十機ニ對シ寡勢克ク勇戦力闘交戦實ニ四十分遂ニ所在敵機ヲ殲滅シタルハ武勳顯著ナリ
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十三年九月六日

支那方面艦隊司令長官 及川古志郎

○通 牒

海人機密第一〇三號

昭和十三年十月二十日

海軍省人事局長

各所轄長殿

定期進級(任用)異動及増俸時期ニ

關スル件申進

本年度士官特務士官及召集中ノ豫備士官ノ定期進級(任用)並ニ士官ノ大異動及増俸ハ左記ニ依リ實施セラ
ル豫定ニ有之候
記

一、士官特務士官及召集中ノ豫備士官ノ進級(任用)

十一月十五日

一、士官ノ異動

大部ノ異動

十二月十五日

一部ノ異動

十一月以後明年一月迄

一、士官ノ増俸

十二月一日

○辭 令

海軍技術會議議員海軍中佐 大家 吾一

海軍公報(部内限) 第三千四十一號 昭和十三年十月二十日

一二四一

1015

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(海軍省)

海軍大佐	伍賀啓次郎(艦本)
同	龍崎留吉(利根)
同	新葉亭造(艦本)
同	村上房三(同)
同	有賀武夫(同)
同	松崎彰(軍令)
海軍中佐	堀内茂忠(軍務)
同	岡友三郎(艦本)
海軍少佐	根岸實(利根)
同	門田一治(同)
同	浦田輝次郎(航本)
同	多田篤次(利根)
海軍大尉	藤井芳郎(艦本)
海軍機關大佐	島田藤治郎(同)
同	秋重實恵(軍務)
海軍機關中佐	森本芳夫(利根)
同	渡邊隆吉(艦本)
海軍造船大佐	梶原正夫(艦本監)
海軍造船中佐	坪田隆平(同)
海軍造船少佐	濱崎諒(艦本)
海軍造兵少佐	

軍艦利根審議委員ヲ命ス

海軍技師 松尾孝(艦本監)

(各通)

第五號驅潛艇審議委員ヲ命ス

海軍中佐 三浦速雄(艦本)
海軍大尉 南祝(五驅潛)
海軍機關大佐 島田藤治郎(艦本)
海軍造船少佐 松本喜太郎(同)
海軍技師 濱田善治(艦本監)
同 梅谷重三郎(同)
同 關甚作(同)

(各通)

第七號驅潛艇審議委員ヲ命ス

海軍中佐 三浦速雄(艦本)
海軍少佐 井上憲一(軍令)
同 山田盛重(軍務)
海軍大尉 宮地美枝(七驅潛)
海軍機關大佐 中山寛(艦本監)
海軍機關少佐 上田博(艦本)
海軍造船中佐 森川信雄(同)
海軍技師 小谷尙造(艦本監)
同 梅谷重三郎(同)
海軍少佐 北野亘(八驅潛)

(各通)

海軍機關少佐 松本 正彦(艦本)
海軍造船大佐 井上 恒六(艦本監)
海軍造船大尉 山口 宗夫(艦本)
海軍技師 大倉 彌一郎(艦本監)
第八號驅潛艇審議委員ヲ命ス(以上十五員海軍艦政本部)

海軍少將 浮田 秀彦(艦本)
海軍中佐 鶴岡 信道(神戸監)
同 竹崎 馨(艦本)
同 後藤 汎(伊八潜)
海軍機關少佐 岡 寅雄(艦本)
同 三戸 文章(伊八潜)
海軍造船少佐 根本 雄一郎(吳廠)
海軍造兵少佐 高多 久三郎(艦本)
伊號第八潜水艦審議委員ヲ命ス

海軍大佐 三戸 壽(艦本)
海軍中佐 鶴岡 信道(神戸監)
同 加藤 行雄(吳廠)
同 岡本 義助(伊七五潜)
海軍機關中佐 河崎 茂治(艦本)
海軍機關少佐 片桐 敏郎(伊七五潜)

海軍造船少佐 大藺 大輔(艦本)
伊號第七十五潜水艦審議委員ヲ命ス(以上十五員海軍艦政本部)

○雜款

○司令驅逐艦一時變更
第二十五驅逐隊司令ハ十月十八日司令驅逐艦ヲ一時大潮ヨリ朝潮ニ變更セリ

○正誤
本月十五日辭令欄中「兼監事長」ハ「兼幹事長」ノ誤

艦船所在

印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○十月二十日午前十時調

横須賀

對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、長門、赤城、駒橋、八雲、磐手

曉、連、狹霧、響、雷、電、羽風、沖風、夏雲、朝雲、峯雲

掃二

富士、尻矢、洲崎

(飛龍)、(高崎)、(劍崎)

長浦

旗風、秋風、山雲、神風、呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一二三、伊一二四

石川島

太刀風、(掃一〇)

横濱

掃五、掃六、夕風

浦賀

(霞)、(不知火)、(掃八)

館山

澤風、早苗

大湊

若竹、吳竹

函館

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑、古鷹、加古、最上、大井

夕顔、菊、葵、萩、綾波、磯波、浦波、初雪、白雪、吹雪、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、伊五六、伊七一、伊六六、伊六五、伊六七、伊七四、伊一二二、伊一二三、室戸

(千代田)、(伊一六)

伊五四、呂五七、呂五九、呂三四、呂三三、伊五七、伊五八、伊七二、伊七三

(瑞穂)、(伊八)、(伊七五)

襟裳、早鞆

(掃七)

因ノ島、朝風、松風、春風

平戸

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、敷波、帆風

伊五二

(蔽)、(陽炎)、(掃九)

榛名、那智、北上、常磐、名取、梨、竹、樫、桃、柳、柏、菫、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、朝潮、大潮、滿潮、荒潮、峯風、野風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六四、呂六六

佐世保

舞鶴

江田内

因ノ島

玉

相生

神戶

海軍公報(部内限) 第三千四十一號 昭和十三年十月二十日

一二四五

1018

呂六五▲、呂六七、呂六八、呂六三、

雁▲、敷島▲、攝津、鳴戸、間宮

(明石)▲

【長崎】
羽黒▲

佐多▲

(利根)▲(筑摩)▲

【元山】
柿

【雄基】
戸葦

【作業地】戸沖島、出雲、△安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、

八重山、白鷹、△川内、△足柄、△球磨、

△妙高、多摩、△天龍、龍田、△長良、△加賀、

△神威、能登呂、勝力、千歳、迅鯨、△那珂、

由良、鬼怒、△神通、△蒼龍、龍驤、

△陸奥、日向、伊勢、△霧島、金剛、△大鯨、

△島海、摩耶、△熊野、鈴谷、三隈、△阿武隈、

栗、梅、蓮、△夕立、村雨、春雨、五月雨、

△白露、有明、夕暮、時雨、△江風、海風、

涼風、山風、△水無月、長月、△薄、藤、

葛、△芙蓉、朝顔、刈萱、△菊月、夕月、

望月、三日月、△追風、疾風、△蓼、蓬、

菱、△島風、沙風、灘風、阜月、△隴、

湖、曙、△天霧、朝霧、夕霧、△白雲、薄雲、

叢雲、東雲、△睦月、卯月、彌生、如月、

【航海中】

石廊(十四日羅府發「ホノルル」)

木曾(十九日佐世保發「徳山」)

楡(二十日鎮海發「仁川」)

文月、沼風

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、

伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、

伊六一、伊六二

伊集、鵠、鴨、鴻、伊千鳥、初雁、友鶴、

真鶴、伊鳩、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

△朝日、膠州、鶴見、野島、知床、隠戸

海軍公報

(部内限) 第三千四十二號

海軍大臣官房

昭和十三年十月二十一日(金)

○ 辭 令

海軍省事務囑託ヲ解ク(附海軍省)

小島 幸治

(各通)

海軍艦政本部附
兼造船監督官

小見 川信

海軍航空本部附
兼造兵監督官

田中 春男

東京監理官ヲ命ス

舞鶴要港部軍法會議附海軍警査 清水 豊治

兼第五艦隊軍法會議附ヲ官ス(以上十名同)

加藤 松三郎

海軍軍事普及部事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額六拾五圓ヲ給シ部内限判任官待遇ト

ス(附海軍大臣官房)

軍令部附海軍特務少尉 高橋 仁平太

第一部第一課兼同第二課勤務ヲ命ス(附軍令部)

軍令部出仕海軍大尉 伊藤 春樹

第三部第八課勤務ヲ命ス(十五名同)

○ 雜 款

○特務艦室戸行動豫定

地名 着

吳 須賀 十月二十二日

十月二十日 發

横 須賀 十月二十五日

十月二十四日 發

神 戸 十月二十七日

十月二十六日 發

吳 保 十一月二日

十一月一日 發

佐 保 十一月二日

十一月一日 發

○特設運送船金龍丸行動豫定變更

地名 着

大 阪 十月十八日

十月十七日 發

横 須賀 十月二十二日

十月二十一日 發

吳 山 十月二十五日

十月二十五日 發

德 保 十月二十六日

十月二十五日 發

佐 鶴 十月三十日

十月二十九日 發

○郵便物發送先變更

軍艦赤城宛

十月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 館 須賀山
其ノ後ハ 横須賀

第二十六驅逐隊、葦宛

十月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 元 山
其ノ後ハ 鎮海

驅逐艦楡、第二十六驅逐隊主計長宛

十月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 仁 川
其ノ後ハ 鎮海

特務艦室戸宛

十月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 横 須賀
同 二十八日迄ニ 同 吳 佐保
同 三十一日迄ニ 同 吳 佐保
其ノ後ハ 吳 佐保

曾爾部隊、加藤部隊宛

自 今 佐世保郵便局氣付軍艦迅鯨

○事務開始

佐世保海軍建築部鎮海出張所ハ十月十三日鎮海要港部
内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○伊太利飛行機ノ本邦飛來豫定

一、乗員 操縦者 Maner Luaidi

操縦助手 Giuseppe Mazzetti

無線電信技師 Silvio Pinna

機關士 Guerino Guerini

BR二〇號（標識 I-FLAJ）

伊太利日本間連絡飛行

二、使用機

三、目的

四、航空路

(イ) 河内、臺北間

河内、臺北間ノ飛行ニ於テハ敵機ト誤認セラルル
虞アルニ付夜間飛行ヲ行ハザル様且又海南島以北
ノ南支那海及臺灣海峡ハ交戦區域ニ付該區域ニ航
入セザル様注意スベシ

南支那海ニ於テ大日本帝國艦船ニ遭遇シタル場合
ハ直チニ之ヨリ離隔スル様行動シツツ高度ヲ五百
米以下ニ下グ飛行スベシ

河内出發後ハ臺北無線電信局ト密接ナル連絡ヲ取
リ行動ヲ明カニスベシ

河内、臺北間ノ飛行ニハ通常左ノ第一航空路ニ依
ルベシ但シ萬一氣象情況極メテ不良ニシテ第一航
空路ヲ取ルコト能ハザル場合ハ左ノ第二航空路ヲ
取ルコトヲ得

「第一航空路」

河内出發後海南島南方三十浬ノ洋上ヨリ「バシ」
海峡ヲ經テ臺灣東海岸線ノ外側二十浬ヲ北航シ
宜蘭上空ニ出デ基隆要塞ヲ避ケ臺北飛行場ヘ

「第二航空路」

宜蘭上空ニ出デ基隆要塞ヲ避ケ臺北飛行場ヘ

七、期 日 追テ通知ス

○正誤
本月十八日辭令欄中「坂田」ハ「坂内」ノ、「市原」ハ「市橋」ノ、昨二十日伊號第七十五潜水艦審議委員任命月日「十月十日」ハ「十月十五日」ノ孰レモ誤

(ロ)

臺北ヨリ基隆要塞ヲ避ケ南西諸島西北側海上ニ出
テ次デ寶島、橫當島ノ中央洋上ヲ横切リ南西諸島
東南側海上ニ出デ潮岬ニ直航シ次デ御前崎、御殿
場、厚木ヲ經テ立川陸軍飛行場ヘ
但シ舊東京市上空ノ飛行ハ之ヲ禁ズ

五、

著陸場 臺北飛行場

立川陸軍飛行場

六、
條 件

(二)(一)

帝國領土航空中ハ帝國航空法規ヲ遵守スベシ
要塞地帯及要塞地帯法第七條ニ定メラレタル區
域竝軍港、要港ノ上空ノ飛行ハ之ヲ嚴ニ禁止ス
尙南西諸島及臺灣竝其ノ領海ハ軍機保護法施行規
則ニ定ムル飛行禁止區域ニ付前記指定航空路ヲ除
キテハ該區域ニ航入セザル様注意スベシ

(三)

臺北以北ノ航空路ニ付テハ臺北飛行場長ノ指示
ヲ受クベシ

海軍公報(部内限) 第三千四十二號 昭和十三年十月二十一日

一二四九

1022

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月二十一日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、長門、赤城、駒橋

戸曉、連、狹霧、戸響、雷、電、羽風、沖風、戸夏雲、朝雲、峯雲

掃二

富士、洲崎

(飛龍) (高崎) (劍崎)

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、戸伊二三、伊一二四

【石川島】

太刀風

【横濱】

掃五、掃六

【浦賀】

(霞) (不知火) (掃八)

【館山】

澤風

【下田】

神風

【大湊】

波風、早苗

【函館】

若竹、吳竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、

【神戸】

伊五四、呂五七、呂五九、戸呂三四、呂三三、戸伊五七、伊五八、戸伊七二、伊七三

(千代田) (伊一六)

(瑞穂) (伊八) (伊七五)

【相生】

襟裳、早鞆

【玉】

(掃七)

【因ノ島】

朝風、松風、春風

【江田内】

平戸

【徳山】

木曾

【舞鶴】

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、敷波、帆風

【佐世保】

(霞) (陽炎) (掃九)

【佐世保】

榛名、那智、北上、常磐、戸名取、梨、竹、樫、桃、柳、檜、萱、戸夕風、朝風、戸若葉、初霜、子日、初春、戸朝潮、大潮、満潮、荒潮、峯風、戸野風、戸三〇、戸三一、戸三二、戸六〇

海軍公報(部内限)第三千四十二號 昭和十三年十月二十一日

一二五一

1023

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六六、
呂六五▲、呂六七、呂六八、呂六三、
雁▲

敷島▲、攝津、鳴戸、間宮

（明石）▲

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

（利根）▲（筑摩）▲

【元山】

【雄基】

【作業地】

沖島、出雲、△安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、殿島、
八重山、白鷹、△川内、△足柄、△球磨、
△妙高、多摩、△天龍、龍田、△長良、△加賀、
△神威、能登呂、勝力、千歳、迅鯨、△那珂、
由良、鬼怒、△神通、△蒼龍、龍驤、
△陸奥、日向、伊勢、△霧島、金剛、△大鯨、
△島海、摩耶、△熊野、鈴谷、三隈、△阿武隈、
栗、梅、蓮、△夕立、村雨、春雨、五月雨、
△白露、有明、夕暮、時雨、△江風、海風、
涼風、山風、△水無月、長月、△薄、藤、
葛、△芙蓉、朝顔、刈萱、△菊月、夕月、
望月、三日月、△追風、疾風、△蓼、蓬、
菱、△島風、沙風、灘風、阜月、△朧、
潮、曙、△天霧、朝霧、夕霧、△白雲、薄雲、

【航海中】

石廊（十四日羅府發「ホルル」へ）
△八雲、磐手（二十日横須賀發—鳥羽へ）
楡（二十日鎮海發—仁川へ）
室戸（二十日吳發—横須賀へ）
尻矢（二十日横須賀發—羅府へ）

叢雲、東雲、△陸月、卯月、彌生、如月、
文月、沼風
△伊一、伊二、伊三、△伊六、伊四、伊五、
伊七、△伊七〇、伊六八、伊六九、
△伊六三、伊五九、伊六〇、△伊六四、
伊六一、伊六二
△隼、鵠、鴨、鴻、△千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、△鳩、鷺、雉
△掃一、掃三、掃四、△掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
△朝日、膠州、鶴見、野島、知床、隠戸

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年十月二十一日(金)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第三五六號ノ六

昭和十三年度新造雜役船ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十三年十月十八日

海 軍 大 臣

船 種	公稱番號	所 屬	記 事			
			定 數 別	製 造 所	契約納入引渡場所	竣工納期日入備考
曳 船 (百五十噸)	第二〇三號	横須賀海軍港務部	定數補充	播磨造船所	横須賀工廠	昭和十四年 五月三十一日
同	第二〇二號	佐世保海軍港務部	臨時附屬	同	佐世保工廠	同 十三年 一月三十一日
交通船兼曳船 (二十噸)	第二〇四號	吳海軍港務部徳山支部	定數補充	宇品造船所	吳工廠	同 十三年 十二月二十四日
同	第二〇五號	佐世保海軍工廠	同	同	佐世保工廠	同 十四年 三月二十日
内 火 艇 (十五米)	第二〇六號	同	公稱第二八九號 代船(定數)	三菱重工業長崎造船所	同	同 十三年 十二月二十四日
同	第二〇七號	海軍技術研究所	臨時附屬	横濱ヨット工作所	横須賀工廠	同 十四年 二月二十八日

海軍公報 (部内限) 號外

海軍公報 (部内限) 號外

内火艇 (十五米)	第二〇八號	大湊要港部	臨時附屬	横濱ロット工作所	横須賀工廠	昭和十四年三月二十日
同 (同)	第二〇九號	吳海軍航空隊	同	同	同	同
同 (同)	第二一〇號	館山海軍航空隊	同	同	同	同
カッター (九米)	第九五五號	横須賀海兵團	定數補充	同	同	同
同 (同)	第九五五號	同	同	同	同	同
同 (同)	第九五四號	横濱海軍航空隊	公稱第八四〇號 代船(定數)	同	同	二月二十八日
同 (同)	第九五五號	同	公稱第八四一號 代船(定數)	同	同	同
水馬 (五十噸積)	第九五五號	横須賀海軍港務部	臨時附屬	高橋組	同	同
傳馬 (八米)	第九五五號	横須賀海兵團	定數補充	墨田川造船所	同	同
同 (同)	第九五五號	同	同	同	同	同
同 (同)	第九五五號	同	同	同	同	同
同 (六米)	第九五四號	海軍航空廠	同	同	同	同
同 (同)	第九五五號	海軍兵學校	公稱第二八二六號 代船(定數)	同	同	同
運貨船 (タルマ型五十噸積)	第九五五號	吳海軍港務部徳山支部	定數補充	高橋組	同	同
同 (同)	第九五五號	吳海軍工廠	公稱第七八三號 代船(定數)	宇品造船所	吳工廠	同

水 船 （百五十噸積）	第五五號	吳海軍港務部德山	支部	定數補充	油谷機械工作所	同	同	三月二十四日
同 （百噸積）	第五五號	同	同	同	同	同	同	二月二十八日
泥 受 船 （八坪積）	第五六號	吳海軍建築部	公稱第九一八號 代船（定數）	同	同	同	同	一月三十一日
同 （二十坪積）	第五六號	橫須賀海軍港務部	定數補充	渡邊製鋼所	同	同	同	二月二十八日
橋 船 （長十五米巾五米）	第五六三號	吳海軍港務部德山	支部	同	播磨造船所	吳工廠	同	十月三十一日

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 令 達

昭和十三年十月二十一日(金)

海軍大臣官房

官房第三一五七號一〇

今次部外ヨリ購買ノ曳船十隻ヲ雜役船ニ編入シ其ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十三年十月十八日

海 軍 大 臣

船 種	公稱番號	所 屬	定 數 別	製 造 所	記 事
交通船兼曳船 (十七艘)	第二〇三號	横須賀海軍工廠	定數補充	函館 西村造船所	
同 (同)	第二〇三號	吳海軍港務部	同		
同 (同)	第二〇四號	同	同		
同 (同)	第二〇五號	吳海軍軍需部	臨時附屬		
同 (同)	第二〇六號	吳海軍工廠	定數補充		
同 (同)	第二〇七號	同	同		
同 (同)	第二〇八號	佐世保海軍港務部	同		

海軍公報 (部内限) 號外

(第 百 一 號)

海軍公報 (部内限) 號外

交通船兼曳船 (十七號)	第二〇九號	佐世保海軍港務部	定數補充
同 (同)	第二〇八號	佐世保海軍軍需部	臨時附屬
同 (同)	第二〇七號	同	同

海軍公報

(部内限) 第三千四十三號

海軍大臣官房

昭和十三年十月二十二日(主)

○ 令 達

官房機密第五一一四號ノ二

内令提
要登載

昭和十三年官房機密第五一一四號中左ノ通改正ス

昭和十三年十月二十二日

海 軍 大 臣

「厦門在勤南支海軍特務部員」ヲ「廣東(厦門)在勤南支海軍特務部員」ニ、「厦門特務部員」ヲ「廣東

(厦門)特務部員」ニ改ム

(参照) 昭和十三年官房機密第五一一四號ハ臨時、北支、南支各

海軍特務部員ノ呼稱ニ關スル件ナリ(九月二十日海軍公報部内限)

官房第一八一七號ノ一三

昭和十二年官房第四三六八號中左ノ通改正シ昭和十三

海軍公報(部内限) 第三千四十三號 昭和十三年十月二十二日

年十月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

昭和十三年十月二十二日

海 軍 大 臣

第一類中 同 海軍建築部ノ項「(横須賀海軍建築部大湊出張所共)」ヲ「(横須賀海軍建築部大湊出張所共) 同 佐世保海軍建築部鎮海出張所共」ニ改ム

官房第五三〇四號

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

第五海軍軍用郵便所ノ事務開始ハ追テ之ヲ定ム

昭和十三年十月二十二日

海 軍 大 臣

表ヲ左ノ如ク改ム

一二五三

1030

名 稱	第二海軍軍用郵便所	第三海軍軍用郵便所	第四海軍軍用郵便所	第五海軍軍用郵便所
設 置 所	第三艦隊ノ一艦	第四艦隊ノ一艦 (北支派遣部隊)	第五艦隊ノ一艦 (南支派遣部隊)	同
所 管	佐世保鎮守府	同	同	同
所 屬	第三艦隊	第四艦隊	第五艦隊	同
職 員	所長 專任一人 奏任 所員 專任八人 判任 一專任十五人 傭人	所長 專任一人 奏任 所員 專任四人 判任	所長 專任一人 奏任 所員 專任二人 判任	所長 專任一人 奏任 所員 專任三人 判任 一專任五人 傭人
備 考	一、所屬長官ハ海軍軍用郵便所ヲ設置シタル場合及移動シタル場合ハ其ノ設置艦船部隊名ヲ海軍大臣ニ報告スベシ 二、所屬長官ハ必要ニ應ジ設置所以外ノ部下艦船部隊ニ職員ノ一部ヲ派出シ軍事郵便事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ第一派出所、第二派出所等ト稱ス 派出所ヲ設置シタル場合及派出所ヲ移動シタル場合ハ其ノ設置艦船部隊名ヲ海軍大臣ニ報告スベシ			

(参照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナリ(昭和十二年九月一日海軍公報)

○ 通 牒

各所屬長官殿

官房第五〇三一號ノ二

昭和十三年十月二十二日

海 軍 次 官

財団法人海仁會ニ關スル件申進

今般財団法人海仁會設立セラレ候處同會ハ本年五月九日官房第二四一五號訓令ニ對スル海軍軍人軍屬援護扶

助調査委員長報告（本年九月十三日海軍公報（部内限）掲載）ノ次第モアリ海軍軍人軍屬ニ對スル援護扶助ノ重要性ニ鑑ミ之ガ擴充ヲ圖ル爲設立セラレタルモノニシテ今後極力部内ノ此ノ種諸團體ヲ統合シ愈施設ヲ整備シ斯業ノ完璧ヲ期シ以テ兵力ノ人的要素増進ニ資スルヲ終局ノ目的トスルモノニ有之候就テハ貴部下一般ニ對シ同會ノ趣旨ヲ周知セシメラレ其ノ發達ニ協力セシメラル様可然取計ハレ度

追テ各軍港及要港ニ於ケル關係施設ノ統合及整備ニ付テハ同會設立委員會ニ於テ順次實施ヲ進メ居リ候條御了知相成度

軍務一第七六號

昭和十三年十月二十二日

海軍省軍務局長

艦隊、鎮守府、參謀長
要港部、駐滿海軍部、司令官、殿
練習艦隊、司令部、校長、殿
直轄、各學校、校長、殿

財團法人海仁會ニ關スル件照會

今般官房第五〇三二號ノ二ヲ以テ首題ニ關シ申進有之候處貴部下一般ニ對シ同會運營ニ關シ誤解無キ様特ニ左記事項ノ周知方可然御取計相成度

記

- 一、同會ハ現役及應召中ノ海軍軍人ノ援護扶助ヲ主トシ軍屬ハ海軍共濟組合ノ福利諸施設ニ浴シ得ザル者ヲ取扱フヲ立前トシ右以外ノ者ニ關シテハ餘裕アル場合要扶助ノ事情ニ依リ之ニ及ボスモノトシ各事業種別毎ニ其ノ對象區分ヲ定ムルコト
- 二、同會ノ新營工事費及經營費ハ全海軍軍人ヲ目標トシテ當テラレタル資金ヲ以テ之ニ充當スルモノナルコト
- 三、下士官兵集會所費トシテ下士官、兵ノ釀出金ハ從來通ナルモ其ノ全部ヲ舉ゲテ下士官、兵ノ俱樂部タル新組織ニ依ル集會所ノ經費ノ一部ニ充當スルモノナリ從ツテ下士官、兵ノ釀出金ヲ以テ准士官以上ノ福利ニ充ツルガ如キコトナキコト
- 四、同會ハ援護及福祉ニ關スル各般ノ事業ヲ行フ綜合機關ニシテ成ルベク在來ノ關係諸團體ヲ之ニ統合シ其ノ事業ヲ統合實施スルモノニシテ單ニ從來ノ下士官兵集會所ヲ擴大シタル組織ニ非ザルコト
- 五、同會ハ先ヅ各軍港地及舞鶴關係ノ施設ヲ整備シ次ヅ其ノ他ノ要港地及各所ノ施設ヲ緩急ニ應ジ逐次整備スル方針ナルコト

海軍公報（部内限）第三千四十三號

昭和十三年十月二十二日

一二五五

1032

經豫第三號ノ三〇七

昭和十三年十月二十二日

海軍省 經理局長

各廳長 殿

國債買入ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏次官ヨリ依頼有之候ニ付
テハ可然取計相成度

（別紙）

藏理第三一六四號

昭和十三年十月十二日

大藏次官 石渡莊太郎

海軍次官 山本五十六殿

本月二十五日ヨリ十一月五日迄支那事變國債ノ郵便局
賣出ヲ行フコトト相成候ニ就テハ貴管下各方面ニ對シ
右國債ノ買入勸奨ニ關シ何分ノ御盡力相煩度此段及御
依頼候也

○ 辭 令

東京監理官ヲ命ス

海軍航空本部技術部
部員兼造兵監督官

海軍技師 林 武治

東京軍法會議附兼第三艦隊軍法會議附支那方面艦隊軍法會議附
東京軍法會議附兼第五艦隊軍法會議附ヲ命ス（以上
計四海軍省）

第一海軍軍用郵便所長ヲ免ス（計二同）
通信事務官 松間 茂春

第三課勤務ヲ命ス（計二海軍省軍務局）
海軍機關大佐 久保田 芳雄

○ 雜 款

○訂正
本月一日辭令欄中高島好太郎ノ辭令日附「十月一日」
ヲ「八月十九日」ト訂正ス

○艦船所在

指▲印▲ハ▲ホ▲フ
定ヲ要セズ

○十月二十二日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲
長門、赤城、駒橋▲

戸曉▲漣▲狹霧、戸響▲雷▲電▲羽風▲
沖風▲戸夏雲、朝雲、峯雲▲

掃二

富士▲洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)

【長浦】

戸旗風、戸秋風、山雲、神風
呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、
戸伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風▲
(掃一○)

【横濱】

掃五▲掃六▲
夕風▲

【浦賀】

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲
戸八雲、磐手

【鳥羽】

波風、早苗

【大湊】

大泊
若竹▲吳竹
矢矧、韓崎、比叡▲衣笠、青葉、淀、淺間、
扶桑▲古鷹▲加古▲最上、大井

【函館】

海軍公報(部内限) 第三千四十三號 昭和十三年十月二十二日

一二五七

【神戸】

伊五四▲呂五七▲呂五九▲
(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】

襟裳▲早鞆▲
(掃七)▲

【因ノ島】

朝風▲松風▲春風▲
平戸▲

【江田内】

伊五六
(千代田)

【別府】

吾妻▲高雄▲長鯨▲愛宕▲敷波▲帆風
伊五二▲

【舞鶴】

(叢)▲(陽炎)▲(掃九)▲

【佐世保】

榛名▲那智▲北上▲常磐▲戸名取▲
梨▲竹▲樫▲桃▲柳▲檜▲葦▲戸夕風▲
朝風▲戸若葉▲初霜▲子日▲初春▲
戸朝潮▲大潮▲満潮▲荒潮▲峯風、戸野風
呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂六〇▲
呂六一▲呂六二▲呂六四▲戸呂六六、
呂六五▲呂六七、戸呂六八、呂六三、

雁▲
敷島▲、攝津、鳴戸、間宮

(明石)▲

【長崎】

羽黒▲
佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【仁川】

【清津】
【作業地】

榆

沖島、出雲、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、
八重山、白鷹、川内、足柄、球磨、
妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、
神威、能登呂、勝力、千歳、迅鯨、那珂、
由良、鬼怒、神通、蒼龍、龍驤、
陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、大鯨、
島海、摩耶、熊野、鈴谷、三隈、阿武隈、
栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、
白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、
涼風、山風、水無月、長月、薄、藤、
葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、
望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、
菱、島風、汐風、灘風、皐月、朧、
潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、
叢雲、東雲、陸月、卯月、彌生、如月、
文月、沼風

【航海中】

石廊 (十四日羅府發「ホノルル」)
室戸 (二十日吳發「横須賀」)
尻矢 (二十日横須賀發「羅府」)
木曾 (二十一日德山發「横須賀」)
梯 (二十一日元山發「鎮海」)
呂三、呂三三、伊五七、伊五八、伊七二、
伊七三 (二十一日神戶發「吳」)

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、
伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、
伊六一、伊六二、
隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、鳩、鷺、雄、
掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、
朝日、膠州、鶴見、野島、知床、隠戸